

平成30年度 那覇市在宅医療・介護連携推進事業

平成30年度 在宅医療推進の為の勉強会



司会：長嶺 勝 氏



講師：岸 宗佑 氏



実物のCVポートを触っている様子

○日 時：平成30年8月3日（金） 午後7時30分～9時00分

○場 所：那覇市医師会・4階ホール

○参加者：65名

（医師12名、看護師21名、保健師1名、MSW3名、

介護支援専門員3名、リハビリ3名、薬剤師8名、

栄養士1名、事務職5名、その他8名）

○司 会：長嶺 勝 氏

（那覇市医師会 在宅医療・地域包括ケア担当理事）

○演 題：『がん医療から慢性期医療まで

CVポートやPICCの効果的な使い方』

～血管内留置デバイス選択から治療マネジメントを考える～

○講 師：大浜第一病院 CVポートセンター

スーパーバイザー 岸 宗佑 氏

※ 参加者アンケートの集計結果は別紙をご参照ください。

勉強会の全体風景



平成30年度 那覇市在宅医療・介護連携推進事業 平成30年度 在宅医療推進の為の勉強会 アンケート集計結果

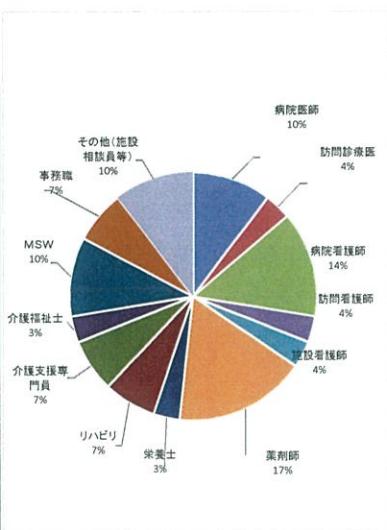
日時:平成30年8月3日(金) 午後7時30分~9時00分
場所:那覇市医師会・4階ホール

参加者:65名
回答者:28名
回収率:43%

アンケート回答者の職種

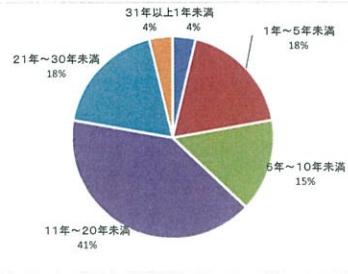
職種	人数	割合
病院医師	3	10%
訪問診療医	1	3%
病院看護師	4	14%
訪問看護師	1	3%
施設看護師	1	3%
薬剤師	5	17%
栄養士	1	3%
リハビリ	2	7%
介護支援専門員	2	7%
介護福祉士	1	3%
MSW	3	10%
事務職	2	7%
その他(施設相談員等)	3	10%
合計	29	100%

※職種の複数回答により、回答数と相違あり。



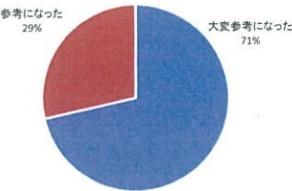
アンケート回答者の経験年数

経験年数	人数	割合
1年未満	1	4%
1年～5年未満	5	18%
6年～10年未満	4	14%
11年～20年未満	11	39%
21年～30年未満	5	18%
31年以上	1	4%
無回答	1	4%
合計	28	100%



在宅医療推進の為の勉強会の内容について、ご意見・ご感想等をお聞かせください。

選択肢	人数	割合
大変参考になった	20	71%
参考になった	8	29%
まあまあ参考になった	0	0%
あまり参考にならない	0	0%
無回答	0	0%
合計	28	100%



◇左記の回答についての理由・感想

- ・CVポートが何なのか知らなかつたので、基本から知ることが出来た。
- ・例えや実症例等が非常にわかりやすかつた。
- ・病院→在宅になり、勉強会参加が少なく(時間など日程問題)こういった機会は大変助かりました。
- ・とても分かりやすかったです。
- ・高齢化社会の医療の選択の一つと感じました。
- ・デバイス選択の重要性について理解できました。

- ・VADの種類、特徴について知ることが出来た。また、実臨床での先生の考えを知ることが出来、大変勉強になった。
- ・「CVポートは在宅医療で点滴に利用できる」という内容は、もっと世間に知つてもらつたほうが良いと思いました。入所施設でも、受入・対応できる所が増えた方が良いと思います。
- ・ルートを何回も取つて、辛い思いをしている方をCVポートやピックを施行して少しでも楽に治療が受けられるという事がわかつて、感動致しました。患者様の生活、人生のことを考えられている治療ですね。
- ・患者様の生活の質を維持をすることができ、とっても大事だと改めて考えさせられた。デバイスを使うタイミングが一番大切だと気づかされ、学ぶことが出来ました。CVポートが広く活用されたら、患者さんの生活の質が上がり、素晴らしい人生を送れるのではないかと考えさせられました。
- ・CVポート使用されている症例に関わったことがあります。以前より興味をもっていました。
- ・デバイスやCVポートのメリットや活用意義をとても分かりやすく理解できました。
- ・担当している患者さんで在宅でCVポートを使っている方がいます。ケアプラン作成する側が自分がCVポートの知識が全くなく、悩んでいました。少し理解できただけでも、看護師さん、薬剤師さんの話が理解できます。ありがとうございました。
- ・栄養管理の重要さを話していただきましたので、栄養士以外の職種の方にも興味を持つてもらえたのではないかと思いよかったです。
- ・嚥下リハの重要性、栄養の重要性が理解できました。CVポートやピックは初めて知りました。勉強になりました。
- ・CVポートについて、新しい情報がたくさんあり、在宅でもCVポートの方が増えていくと思えた。

演題:『がん医療から慢性期医療までCVポートやPICCの効果的な使い方』について 講師:岸 宗祐 氏

【病院勤務医・訪問診療医】

- ・高齢で非ガン患者さんのPICCやCVポートの対応に悩むことになりそうだと感じた。選択が増えるのは大変良いがターミナルケアが変わっていきそうだと思った。(対応患者さんが増えすぎたため)
- ・新しいことが聞けて勉強になった。CVポート適応を考えていきたい。

【病院看護師】

- ・慢性疾患、ねたきりの患者様のケアをするにあたり、抹消ルートが取れない事。長期の点滴治療を強いる苦痛が少しでも軽くなるなら、もっと県内で普及を広めていただきたいと思います。

【訪問看護師】

- ・嚥下訓練にSTが在宅にしてくれるといいなと強く感じました。

【薬剤師】

- ・ルートを確保するのにも患者のことを第一に考えていらっしゃる姿に感銘を受けました。多忙な時は、患者対応を十分にとれない話しが多いですが、今後は維持期で最良の選択が出来ないか意識してみます。

- ・大学の頃、勉強したTPNの知識がよみがえってきました。腸を動かす事、嚥下が回復するまで、胃瘻を留置する等色々思い出されました。調剤薬局では、あまり接する機会がないと思いますが、とても参考になりました。楽しかったです。

【栄養士】

- ・コメディカルでも分かりやすく話していただきましたので、とても勉強になりました。

【リハビリ】

- ・色々な写真を利用されていて、理解しやすかったです。ありがとうございました。

【介護支援専門員】

- ・ものすごく分かりやすい内容でした。

【MSW】

- ・とても分かりやすく飽きずに聞けました。
- ・沖縄でも広がってほしいと思いました。

【その他】

- ・CVポートのすばらしさを改めて教えていただきありがとうございます。

- ・冗談を交えながら、熱く医療を語る姿にとても感銘を受けました。仕事柄、がん関連の勉強をしていますが、ポートのことは正直きちんと勉強する機会がなかったので、今回大変勉強になりました。VADの使い分けの考え方など非常に参考になりました。

今後、どのようなプログラム(テーマ)があったら参加したいと思いますか?

【病院看護師】

- ・STがいゝない病院や施設でもできる嚥下訓練

【訪問看護師】

- ・病院⇒在宅との連携強化のための勉強会、グループワークの場や研修

【リハビリ】

- ・看取りについて

【その他】

- ・肝臓、肝硬変、アルコール依存症について

- ・がん関連

- ・地域ケアシステムについての今後の沖縄の課題

- ・在宅医療という枠組みの中での医薬品メーカーに期待すること

- ・人工呼吸器、血液透析、腹膜透析

その他、今回の在宅医療推進の為の勉強会を通して、ご意見・ご感想等をお聞かせください。

- ・CVポートが身近に感じられました。今後に活かしていきます。ありがとうございました。

- ・毎回勉強になつてます。

- ・患者さんにポートを入れていると話を聞くが、イメージがつかめなかつた。今回よくわかつた。

- ・最後まで飽きることなく集中して受講できました。大変楽しく、勉強させて頂きました。

- ・初めての参加でしたが、非常に勉強になりました。次回もぜひ参加したいです。

- ・CVポートから在宅医療連携が出来ればと思います。

- ・在宅でターミナルになると、DIV留置が困難になり、皮下DIVを選択する場合があるが、輸血選択エラーと思うことがあります。なかなか言葉が届かない時があります。もちろん実施に至らず済みましたが、在宅はチームで動く為、医師・看護師のコミュニケーションを取りやすい環境を作る施策の為に勉強会や研修等をやってほしいです。病院と在宅なども。